

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2015がリアスハーバー宮古にて開催

平成27年7月31日～8月2日の3日間の日程で「国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2015」が、開港400周年を迎える岩手県の宮古市で開催されました。大会には海外からニュージーランド、オーストラリア、香港の3チーム、国内は、地元高校ヨット部2クラブ参加で、16クラブから、合わせて88名の選手が参加し、真夏のヨットレースを楽しむとともに国際交流の輪を広げていました。

会場となった岩手県宮古市は、三陸海岸のほぼ中央に位置し、水産業が盛んで、特にサケやサンマは全国屈指の水揚げを誇ります。また江戸時代から南部藩の港として栄えた宮古港は、今年が開港から400年目の節目にあたり、数々の記念イベントが企画されており、本大会もその一つとして開催されたのです。



開会式

開会式では、ジュニアセーラーの歌のBGMに合わせて、各チームが元気に整然と入場行進を行いました。次に競技会委員長の伊藤雅宣JJYU専務理事が競技会の開催を宣言、全員が起立して国旗を掲揚し国歌を斉唱、石原伸晃JJYU会長の競技会長挨拶、そして山本正徳宮古市長の共同主催者としての挨拶がありました。その後、宮古ジュニアセーリングクラブの皆さんが、少年ヨット憲章「山中湖宣言」と選手宣誓を行い、明日からのレースを元気に正々堂々と闘うことを誓っていました。



チーム揃っての入場



伊藤雅宣JJYU専務理事が競技会開会を宣言



石原伸晃JJYU会長の競技会長挨拶



山本正徳宮古市長の共同主催者挨拶



宮古ジュニアセーリングクラブの皆さんによる
「山中湖宣言」



宮古ジュニアセーリングクラブの皆さんによる
選手宣誓

国際交流会

開会式後に、国際交流会が開催されました。開会の言葉を山本正徳宮古市長が日本語と英語で行った後に、競技会副会長の榊頭治岩手県ヨット連盟会長が乾杯の音頭をとり、いよいよお楽しみのバーベキュータイムです。地元ホストクラブのみなさんが心をこめて用意してくれたメニューは、焼き鳥、焼き肉、焼きそば、じゃがいもや玉ねぎのホイル焼き、そして三陸ならではの新鮮なホタテとイカ焼きなど、心がこもったおもてなしでおなが一杯になりました。引き続き海外チームとのプレゼント交換や指導者による各クラブの紹介と進むうちに、日が暮れた会場に、打ち上げ花火が上がりだしました。埼玉と岩手を結ぶ災害支援ボランティア団体の宮北会・花火師軍団の皆さんによる、市販の打ち上げ花火のパフォーマンスです。DJ WASEI CHIKADAさんの司会進行で盛り上がる会場は、キッズダンスコンテストが始まりました。飛び入りの子どもたちが、司会者のDJと音楽に合わせてオリジナルのダンスを披露し、ギャラリーも手拍子で喝さいを送っていました



競技会副会長の佐藤精知夫
JJYU副会長から海外チームに
日本酒のプレゼント



宮古ジュニアセーリングクラブと海外チームのプレゼント交換
(左からニュージーランド、香港、オーストラリア)



レース風景(A海面)

8月1日の初日は宮古湾の特徴である午前中の無風状態のためレース開始が遅れましたが、その後は風が吹き出し、国際420級、FJ級、レーザー4.7、OP級上級者は4レースを実施することができました。

翌8月2日も無風状態から時間ともに風向、風速ともに安定し、国際420級、FJ級、レーザー4.7の第5～7レース、OP上級者の第5・6レースを実施しました。



レース風景(B海面)

今回のOP級初級者は16名のエントリーがありましたが、艇はチャーター艇を使用する乗り回し方式としました。選手を4組(デビジョン)に分け、1～16まで番号の入ったゼッケン(ビブレ)を付けてもらいます。レースを行わないデビジョンの選手は、待機船からレースを観戦することになります。

8月1日の予選レースは、2組のデビジョンが2レースを行い4レースで1クールが終了する方式で行いました。9時に出艇したものの風向が5分と続かず振れまわること、日差しも強いことから、艇のみを海上に留め、選手を陸上で待機することとしました。その後安定した風が入りはじめ、計8レース・2クールを実施することができました。一時は風速が上がり、レースの中止も検討しましたが、その間も選手たちは待機船から海に飛び込んだりしながら、宮古の夏を楽しんでいました。

8月2日は朝から30°、3～4m/sの風があり、第1レースを9時55分にスタートしました。決勝戦は予選9位～16位の選手8名が先ず2レースを行いました。その成績により11位～16位の順位を確定しました。最終の決勝戦は上記レースの1、2位と予選1～8位の選手計10選手が参加しました。風速も上がり始めたために、コースも長めに設定し直し、最終の決勝戦に相応しい素晴らしいレース展開を見せてくれました。



閉会式



小澤吉太郎特別賞授与



国内ジュニアヨットクラブ対抗
特別賞授与



文部科学大臣賞状授与
(OP級上級者第1位)



国土交通大臣賞状授与
(OP級初級者第1位)

